

フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

スイスのなぜなぜ
「村中のすべての家の
屋根をあたらしくする
のはどんなとき?」。
答えは外に出ると、
家々の屋根が真っ白に

なっていた「雪の朝」
だ。日常の生活が激変
した昨年から新年を迎
えて平常な雪の朝と
願った人も多かったは
ずだ。

バリトン歌手と企業
経営であった故大賀典
雄さんの残した言葉
「対人関係を100と

した場合、自らを49の
位置にして相手を51に
して相手を立て自分は
一步譲る。49対51の緊
張関係こそ人間関係が
うまくいく」「何といっ
てもリーダーシップ。
それから言語明瞭」。

私も今年、古希を迎え
る。唐の詩人、杜甫の
詩「人生七十古希稀な
り」に由来した呼び方

だ。この一年も大賀さ
んの言葉のように前向
きに生きながら多くの
情報を届けたいと思
う。

12月中旬、大町合同
庁舎講堂でのシニア大
学1学年36名を対象に
「地域活動の進め方と

より楽しく輝いて生きる ための学びに関心を

その実践」について講
義する機会があった。
「人生100年時代を
より楽しく輝いて生き
るために」を指して

社会参加のきっかけを
つかみ、地域社会の中
で活躍する人材を目指
して受講した皆さんに

会う事は大変刺激にも
なる。今後厳しい社会
の中で人生を歩まなけ
ればならない事を踏ま
えて、生き甲斐を探す
事や、人のために役立
ちたいと考える事が大
切、そのためには色々
な人達と気軽に話し、

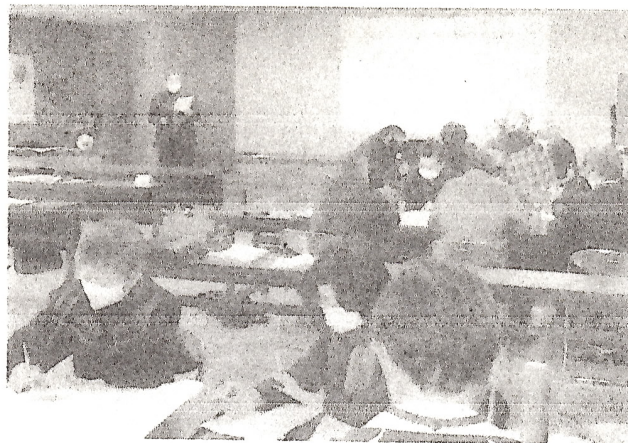
人との関わりを広げる
ために社会参加は必要
との内容を中心に話
す。

最後に樋野興夫医学
博士の著書「良い人生
は、最後の5年で決ま
る」に書かれてある「後
悔しない人生のため

に、心構えを変える。
自分で変えられること
は全力で、替えられな
いことは受け入れる。
人を褒める、相手を認
める。老いる事を否定
しない、自分を褒める
事に心掛ける」を伝え

る。シニア大学を卒業
され地域で活躍する大
勢の皆さんと一緒に活
躍する事を期待した
い。

昨年12月、JR東日
本が今春のダイヤ改正
を発表した。新宿―松
本間を走る中央東線の
特急「あずさ」が観光
から日常使いへ大きく
舵を切った内容だ。上
下2本ずつ減便し、県
内でも富士見・上諏



シニア大学講義、これまでの自分・今の自分・
これからの目標を考える大切な時間になる

訪・下諏訪・岡谷・塩
尻に停車する列車が増
え乗車時間が長くな
り、大北地域を列車で
訪れるには長野駅が玄
関口になる事は避けら
れないだろう。これま
で以上に大系線の存続
に関心を持つべきなの
だろうと考えさせられ
た。(信州地域社会
フォーラム会員・白馬